

長期的な主権者教育を

有権者の投票行動の分

析などが専門の今井亮佑

・崇城大総合教育センタ

ー教授(政治行動論)に、

県内で続く低調な選挙の

背景や危険性について聞

いた。

ー新型コロナウイルス

の感染拡大が、低調な選

挙に影響しているのでは

ようか。

「データがなく一概に

言えないが、これまで何

となく投票していて、コ

教授 今井亮佑

総合教育センター
崇城大



教授 今井亮佑

ロナ禍で行かなかった人
は一定数いると考えられ
る。ただ、感染が拡大し
ていない自治体も低調

どのような選択肢が与え
られているかが大きなポ
イントだ。例えば上天草
市議選は、選挙前から結

「選挙は定期的には、首
長や議員に監視の目を行
き届かせる重要な機会。
有権者による監視力が
弱まると、首長や議員が
好き勝手することをお許
すことにつながりかねな
い」

で、大きな要因とはなっ
ていない印象だ」

「投票率向上に特効薬
はない。政治に関心が低
い傾向の若い世代には選
挙や投票の意義を理解さ
せ、自分のこととして捉
えてもらうことが大切。
長期的な主権者教育が必
要だ」

「選挙では、有権者に
危険性は。」

「考えられる要因は何
ですか。」

「低調な選挙が招く危
険性は。」

(聞き手・松富浩之)